

世界遺産通信

IN 三里小学校

vol.5

令和5年12月

和歌山県世界遺産センター発行

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～



本番に向けて奮闘中

11月16日(木)、三里小学校5・6年生の児童が世界遺産学習全国サミット本番に向けて語り部活動のリハーサルを現地（発心門王子～三軒茶屋跡）で行いました。三里小学校3・4年生が観客となり、5・6年生が発表をしました。各スポットの歴史や魅力を伝えるため、手作りのプラカードや短歌を全員で声を揃えて読むなどの工夫をし、観客の皆さんに分かりやすく伝えることを意識して取り組んでいました。あとで、発表した児童に聞いてみると「読むのが早くなる。」など普段の練習と本番での難しさを感じている様子でした。練習風景を撮ってくれている地元の企業さんもおられ、町を挙げて応援されていることを想いながら、本番に向けて自分らしさをしっかり出せるように準備を頑張っておりました。

語り部活動の様子



三里富士



伏拝王子

本宮小学校との語り部Jr.発表会

11月20日(月)、本宮小学校の4・5・6年生の児童に向けて語り部Jr.発表会を行いました。田辺市教育委員会や、地域の方々も参観に訪れて、本番をイメージした活動となりました。リハーサル時の反省を意識しながら、観客全ての人に熊野古道中辺路の魅力を伝えている姿が印象的でした。当日に向けて残り数週間となりましたが悔いが残らないように最後までやり切っておりました。



熊野本宮語り部の会 松本茂子さん

参観して感じたこと

語り部活動のリハーサル等を見てきて、発表の仕方や顔つきに自信がでてきたように感じました。一人ひとりが自分の役割を理解し、責任感を持って取り組んでいる姿勢が素晴らしいと思いました。当日までもう少し時間があるので更なるレベルアップを期待して当日を迎えたいと思いました。ラスト頑張ってください。